

「令和5年版県民活動白書」の概要

第1部 県民活動の現状と課題

【県民活動団体数】

令和4年度：2,580 団体

| 年 度 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 団体数 | 2,374 | 2,431 | 2,443 | 2,445 | 2,580 |

【県民活動への参加】

団体の会員について、中心的な活動メンバーは50代以上が約8割を占め、特に30代以下の割合が低いことから、参加しやすい環境づくりの推進が必要。

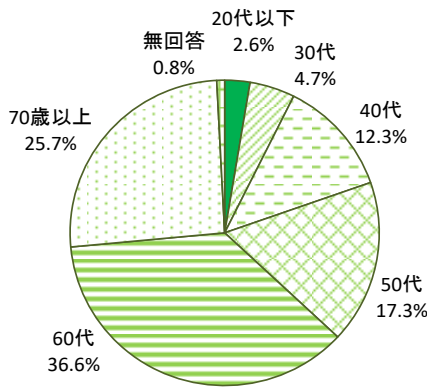
【団体の基盤】

主な収入源として会費収入をあげている団体が半数以上で、財政基盤の弱い団体が多。また、会員の高齢化など人材に関する課題が上位を占めており、団体の基盤強化が必要。

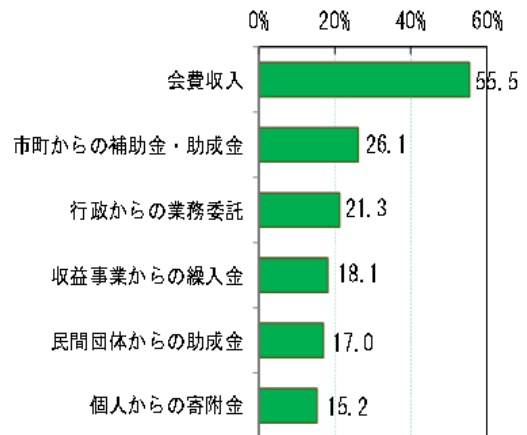
【協働】

団体と多様な主体との協働は4割未満と低い状況にあることから、協働をコーディネートする人材の育成など、多様な主体と協働できる体制を整備する必要がある。

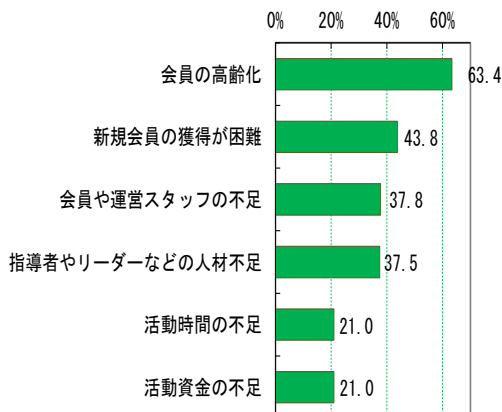
[中心的な活動メンバーの年代]



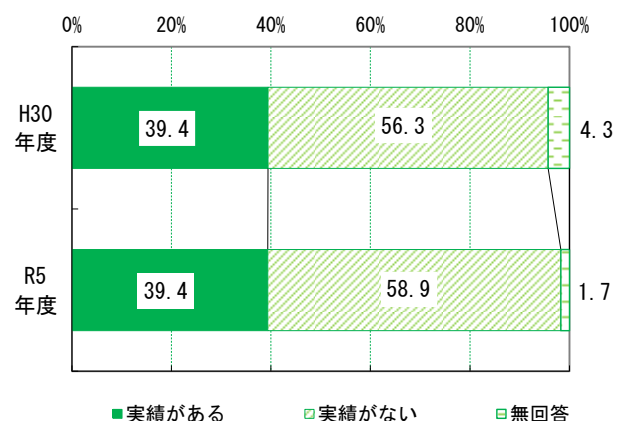
[団体の収入源]



[活動を行う上での課題]



[多様な主体との協働]



第2部 令和4年度県民活動関連施策の実績

基本方針1 県民活動への理解と参加の促進

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|-------------------------|--|
| 県民活動参加のきっかけづくりと裾野の拡大 | ●県民活動推進事業 ・大学生向け県民活動団体活動説明会 5回 延べ14団体・学生149名 |
| 山口ゆめ花博を契機とした県民活動の継続的な展開 | ●県民ゆめはなアクション推進事業 ・県民活動アンバサダーと連携した出前講座 14回 210名 |

基本方針2 県民活動団体の自立・持続的発展に向けた環境づくり

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|------------------|---|
| 自立的活動に向けた財政基盤の強化 | ●域外パワー活用地域貢献推進事業 ・プロボノの活用 受入5団体 プロボノワーカー44名 |

基本方針3 県民活動団体と多様な主体との協働の推進

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|-------------------------|---|
| コーディネート機能の強化と協働推進の環境づくり | ●県民活動推進事業 ・協働ネットワーク交流会 企業8社・団体等60名 |
| 「あいかさねっと」を活用したマッチングの推進 | ●県民活動推進事業 ・「あいかさねっと」等を通じたボランティア活動マッチング数 318名(H30～R4累計, 610名) |

第3部 令和5年度県民活動関連施策の計画

基本方針1 県民活動への理解と参加の促進

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|--------------------------|--|
| イベントの開催による県民活動への理解と参加の促進 | ●きららでキラリ！県民活動促進事業 ・山口きらら博記念公園でのイベントの開催 ・出展者・運営ボランティア交流会の開催 |
| 若年層の参加促進に向けた高校・大学等との連携 | ●未来へつなぐ！若者の県民活動促進事業 ・団体活動説明会の開催 ・ボランティア体験会の開催 ・体験会等を活用した情報発信の強化 |

基本方針2 県民活動団体の基盤強化に向けた人づくり・環境づくり

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|-----------------------|---|
| プロボノの活用による県民活動団体の基盤強化 | ●プロボノによる県民活動団体の基盤強化事業 ・「プロボノワーカーバンク」の創設・運営 ・「やまぐちプロボノコンシェルジュ」の配置 ・活動報告会・交流会の開催 |

基本方針3 県民活動団体と多様な主体との協働の推進

| 施策の展開方向 | 事業の概要 |
|----------------------|--|
| 「協働ファシリテーター」による協働の推進 | ●協働ネットワーク強化による県民活動促進事業 ・「地域協働ファシリテーター」養成研修の開催 ・市町民活動支援センターへの支援 ・情報共有会議の開催 |

第4部 市町における取組

- 市町における県民活動に関する条例・計画の状況や活動概況、取組方針等
- 市町民活動支援センター等の県民活動支援拠点の取組